

様式第1号（第3条関係）

該当する事項以外は二重線で消す。

記入例

ばい煙特定施設設置(使用)届出書

年 月 日

届出者が法人の場合は、本店の名称、所在地及び代表者の氏名を記入する。

届出者

氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名

前橋市大手町1-0-1
群馬工業株式会社
代表取締役 高崎太郎

群馬県の生活環境を保全する条例第15条第1項(第16条第1項、第17条第1項)の規定により、ばい煙特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	群馬工業株式会社 高崎工場資材置場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	高崎市高松町1-0	※受理年月日	年 月 日
ばい煙特定施設の種類	第3項 酸洗い施設(1基)	※施設番号	
△ばい煙特定施設の構造	別紙1のとおり。	※審査結果	
△ばい煙特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※備考	
△ばい煙の処理の方法	別紙3のとおり。		

網掛け部分は記入不要です。

備考

- 1 ばい煙特定施設の種類の欄には、群馬県の生活環境を保全する条例施行規則(平成12年群馬県規則第109号)別表第1に掲げる項番号及び名称を記載してください。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用してください。
- 3 ※印の欄には、記載しないでください。
- 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させてください。
- 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4としてください。

(変更届で変更がある場合)
変更前と変更後のものを記入

ばい煙特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号		2号酸洗い施設	
ばい煙特定施設項番号及び名称		酸洗い施設	
型	式	酸洗い槽 (縦×横×高さ 0.5×1.6×0.8m)	
施設の設置場所		別添図のとおり	
設置年月日		年月日	年月日
工事着手予定年月日		平成〇年〇月〇日	年月日
工事完成予定年月日		平成〇年〇月〇日	年月日
使用開始予定年月日		平成〇年〇月〇日	年月日
規 模	伝熱面積 (m ²)	/	
	燃料の燃焼能力 (重油換算 t/h)		
	原料の処理能力 (t/h)		
	火格子面積又は羽口面断面積 (m ²)		
	変圧器の定格容量 (kVA)		
	触媒に付着する炭素の燃焼能力 (kg/h)		
	焼却能力 (kg/h)		
	乾燥施設の容量 (m ³)		
	電流量 (kA)		
	ポンプの動力 (kW)		

備考

- 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載してください。
- 2 規模の欄には、群馬県的生活環境を保全する条例施行規則別表1の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載してください。
- 3 ばい煙特定施設の構造概要図を添付してください。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いてください。

(変更届で変更がある場合)
変更前と変更後のものを記入

工場又は事業場における施設番号		2号酸洗施設					
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	8時～20時 10時間/回 1回/日 20日/月			時～時 時間/回 回/日 日/月		
	季節変動	なし					
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類	塩酸					
	使用割合	濃度約10%					
	原材料中の成分割合(%)	硫黄分 カドミウム分	鉛分 弗素分		硫黄分 カドミウム分	鉛分 弗素分	
	1日の使用量	100kg					
燃料又は電力	種類						
	燃料中の成分割合(%)	灰分	硫黄分	窒素分	灰分	硫黄分	窒素分
	発熱量						
	通常の使用量						
	混焼割合						
排出ガス量 (Nm ³ /h)	湿り	最大 10	通常		最大	通常	
	乾き	最大	通常		最大	通常	
排出ガス温度 (°C)	50						
排出ガス中の酸素濃度 (%)							
ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm ³)	最大	通常		最大	通常	
	硫酸化物 (容量比ppm)	最大	通常		最大	通常	
	カドミウム及びその化合物 (mg/Nm ³)	最大	通常		最大	通常	
	塩素 (mg/Nm ³)	最大 0.5	通常 0.5		最大	通常	
	塩化水素 (mg/Nm ³)	最大 5	通常 5		最大	通常	
	弗素、弗化水素及び弗化珪素 (mg/Nm ³)	最大	通常		最大	通常	
	鉛及びその化合物 (mg/Nm ³)	最大	通常		最大	通常	
	窒素酸化物 (容量比ppm)	最大	通常		最大	通常	
シアン化水素 (mg/Nm ³)	最大	通常		最大	通常		
ばい煙量	硫酸化物 (mg/Nm ³)	最大	通常		最大	通常	
その他参考となるべき事項							

備考

- 1 原材料中の成分割合(%)の欄及び燃料中の成分割合(%)の欄の記載に当たっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにしてください。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度としてください。
- 3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度としてください。
- 4 その他参考となるべき事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載してください。

ばい煙の処理の方法

(変更届で変更がある場合)
変更前と変更後のものを記入

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号				
処理に係るばい煙特定施設の工場又は事業場における施設番号				
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式		煙突		
設置年	月	日	年 月 日	
工事着手予定年	月	日	平成〇年 〇月 〇日	
工事完成予定年	月	日	平成〇年 〇月 〇日	
使用開始予定年	月	日	平成〇年 〇月 〇日	
ばい煙の濃度	排出ガス量 (Nm ³ /h)	最大		
		通常		
	排出ガス温度 (°C)	処理前		
		処理後		
	ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm ³)	処理前	
			処理後	
		硫黄酸化物 (容量比ppm)	処理前	
			処理後	
		カドミウム及びその化合物 (mg/Nm ³)	処理前	
			処理後	
		塩素 (mg/Nm ³)	処理前	
			処理後	
		塩化水素 (mg/Nm ³)	処理前	
			処理後	
	弗素、弗化水素及び弗化珪素 (mg/Nm ³)	処理前		
		処理後		
	鉛及びその化合物 (mg/Nm ³)	処理前		
		処理後		
窒素酸化物 (容量比ppm)	処理前			
	処理後			
シアン化水素 (mg/Nm ³)	処理前			
	処理後			
ばい煙量	硫黄酸化物 (Nm ³ /h)	最大	処理前	
		通常	処理後	
		最大	処理前	
		通常	処理後	
捕集効率 (%)	ばいじん			
	硫黄酸化物			
	カドミウム及びその化合物			
	塩素			
	塩化水素			
	弗素、弗化水素及び弗化珪素			
	鉛及びその化合物			
	窒素酸化物			
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等		8時～20時 10時間/回 1回/日 20日/月	
	季節的変動		なし	
排出口の实高さ Ho(m)		10.00		
補正された排出口の高さ He(m)		10.01		
排出速度 (m/s)		1.3		

備考

- 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載してください。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度としてください。
- 3 補正された排出口の高さHeは、群馬県の生活環境を保全する条例施行規則第6条第2項の算式により算定してください。
- 4 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付してください。